

架け橋プロジェクト 授業風景（5、6校時）



【大人のはなし（職業講話）】

この「大人のはなし」は、このプロジェクトの中でもとても重要な位置づけとして行っているものの一つです。今年は3人の方に10分程度の職業にまつわる話をしてもらいました。仕事の内容や職業を目指したきっかけ、やりがいなど、大人たちがそれぞれに誇りを持って働いている姿を目の前で語ってもらいます。

生徒は、大人になることや仕事について多くのことを考えます。そして、先生方が言われることは、仕事は多くの仲間と一緒に作りあげるもので、一人一人のそれぞれの力が大きな役割につながっているということです。



ツタドボの福島先生の「大人のはなし」

ペーパーブリッジ制作【個人記録表】 3年 組 号 [] 班				
月日	回数	活動内容	個人の感想および反省	今日の帽子
9/21	1	ガイダンス ◎美術と工学と科学の話 ◎熊本地震と豪雨災害とインフラ整備の重要性 ◎フタバがメンバーによる橋の種類を紹介		0分
	2	◎ペーパーブリッジテーマ発表（橋梁設置場所発表） ◎全体スケジュール説明		
9/26	3	デザイン（サンプル組立）		0分
	4	各班でディスカッション レギュレーションの説明		ステップ
10/11	5	デザイン（構想を練る）		0分
	6		ステップ	
10/18	7	大人の話（私と仕事）① 構想（第1次発表） ディスカッション		0分
	8		ステップ	
10/24	9	大人の話（私と仕事）② 制作①② プレゼンテーション作成①		0分
	10		ステップ	
10/31	11	制作③④ プレゼンテーション作成②		0分
	12		ステップ	
11/7	13	大人の話③ 制作⑤⑥ プレゼンテーション作成③		0分
	14		ステップ	
11/17	15	プレゼンテーション 競技 講話 講評 表彰式		0分
	16		ステップ	
	17		ステップ	

【6つの帽子について】

班活動は、常にいい状態で進む訳ではありません。当然意見の対立や日によっても気分が浮き沈みし易い年頃です。話し合いながら一つの目標に近づけていく作業をあえて長期間授業に組み込むのは、短時間では見えない自分に出会うためでもあります。

また、あえてリスク回避のための意見や不安など、一見消極的に捉えがちなことも述べる必要もあるでしょう。こういう時は黒い帽子をかぶって堂々と発言する。いろいろな帽子をかぶりながら意見を交わしていることを互いに共有することで、寛容さを身につけ理解し合う態度が育てばいいなと考えています。



「今日の〇〇君は、どの帽子をかぶっていたかな？」